



- (4) 類似事業の有無  
無

### 3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額  | 事業内容の詳細               |
|------|-----|-----------------------|
| 補助金  | 500 | 認知症カフェ設置事業 100千円× 5か所 |
| 合計   | 500 |                       |

### 決定額の考え方

#### 4 参考事項

##### (1) 各種計画での位置づけ

「第8期岐阜県高齢者安心計画」の第4章「施策の展開」第1節2「認知症施策の推進」

##### (2) 国・他県の状況

国は、認知症施策推進大綱の中で「若年性認知症の人への支援」や「介護者への支援」を掲げており、国施策の方針と一致している。

##### (3) 後年度の財政負担

認知症高齢者が今後も増加していく中で、集いの場の存在は重要であるため、民間主導の集いの場の開設促進に取り組む必要がある。

将来的には、民間主導の集いの場を市町村が主体となって取り組んでいくよう連携を図る。

##### (4) 事業主体及びその妥当性

認知症になっても地域で安心して暮らしていくためには、集いの場の存在が重要である。民間主導の集いの場を増やすことにより、県内に互助・共助のつながりを作っていく上で、認知症カフェや家族会を支援していくことは妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

|                                     |        |
|-------------------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/>            | 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 継続要求事業 |

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 民間団体が開設する認知症カフェを県内5圏域にそれぞれ1つ以上設置する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名             | 事業開始前<br>(R) | R2年度<br>実績 | R3年度<br>目標 | R4年度<br>目標 | 終期目標<br>(R) | 達成率   |
|-----------------|--------------|------------|------------|------------|-------------|-------|
|                 |              |            |            |            |             |       |
| ① 認知症カフェの設置数、圏域 | 0<br>(H26)   | 33<br>4圏域  | 4圏域        | 5圏域        | 5圏域         | 80.0% |
| ②               | ※飛騨圏域で未設置    |            |            |            |             | %     |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

|       |  |
|-------|--|
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組内容と成果を記載してください。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事業実施は見送った。</li> <li>令和3年度についても同様とした。</li> </ul> |
| 令和3年度 | <del>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</del>  |
| 令和4年度 | <del>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</del>  |

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

|   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）<br/>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>  |   |
| (評価)<br>2   | 認知症になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができる体制整備が必要であり、そのためには地域における認知症の方やその家族が集うことができる認知症カフェを増やしていくことが必要である。 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）<br/>3：期待以上の成果あり<br/>2：期待どおりの成果あり<br/>1：期待どおりの成果が得られていない<br/>0：ほとんど成果が得られていない</li> </ul> |   |
| (評価)<br>2   | 認知症カフェの設置や若年性認知症家族の交流が促進され、認知症の方やその家族が暮らしやすい地域づくりが進んだ。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）<br/>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>  |   |
| (評価)<br>1   | 市町村と連携して事業を行う団体に助成することにより、市町村による事業化が図られ効率的である。  |

### (今後の課題)

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項<br/>継続的に運営を行っていくためには、認知症カフェの開設者と市町村との連携体制の構築が必要である。</li> </ul> |
|---|

### (次年度の方向性)

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか<br/>継続すべき事業。県内全圏域における認知症カフェ設置に向け、事業所や市町村の連携体制構築をめざして継続実施が必要である。</li> </ul> |
|--|

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

|  |       |
|--|-------|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課<br>組み合わせる理由や期待する効果 など | 【〇〇課】 |
|--|-------|